

作成日 2026 年 5 月 24 日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 2026-1-343

課題名：日本の肺移植全国コホートにおける移植後非結核性抗酸菌症の発症頻度 危険因子および予後の検討：多機関共同観察研究

1. 研究の対象

2018 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、当機関及び共同研究機関で肺移植を受けられた方を対象とします。

2. 研究期間

2026 年 7 月 (研究実施許可日) ～2028 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び研究代表機関への情報の提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026 年 8 月 17 日以降

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

肺移植後には、免疫を抑える治療の影響などにより、さまざまな感染症が問題になります。その中でも、**非結核性抗酸菌症**は診断や治療が難しく、肺移植後の経過に影響する可能性があります。

しかし、日本全国の肺移植患者さんを対象として、肺移植後に非結核性抗酸菌症がどのくらい起こるのか、どのような方に起こりやすいのか、またその後の経過にどのような影響があるのかを詳しく調べた研究は多くありません。

この研究では、日本の肺移植全国コホートを用いて、肺移植後の非結核性抗酸菌症の発症頻度、危険因子、菌の種類、治療内容、予後との関連を明らかにすることを目的としています。

5. 研究方法

この研究は、すでに診療の中で得られている情報を用いて行う多機関共同後ろ向き観察研究です。新たな検査や治療を追加で行うことはありません。

対象となる方について、各共同研究機関の診療録、微生物検査結果、薬剤投与歴、移植関連データベース等から必要な情報を収集し、個人が直接特定されない形にしたうえで、研究代表機関である東北大学にて統合・解析します。

主に、肺移植後 2 年以内に非結核性抗酸菌症を発症した割合を調べます。あわせて、菌の種類、発症しやすさに関係する因子、治療内容、緑膿菌、アスペルギルス、サイトメガロウイルス感染に関する情報、死亡、再移植、CLAD (慢性移植肺機能不全) などとの関連も検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では試料は用いません。

用いる情報は、年齢、性別、原疾患、移植年月日、移植術式、ドナー種別、移植前後の微生物検査結果、非結核性抗酸菌の検出や診断に関する情報、緑膿菌・アスペルギルス・サイトメガロウイルスに関する情報、治療内容、術後経過、死亡・再移植・CLAD の有無 等です。

7. 外部への試料・情報の提供

本研究では試料の提供はありません。共同研究機関で収集した情報は、氏名、生年月日、住所等の直接識別子を削除し、研究用 ID を付したうえで、研究代表機関である東北大学に提供されます。対応表は各共同研究機関で保管し、東北大学には提供しません。情報の提供は、パスワード保護された電子ファイル、セキュアな電子媒体、又はアクセス制限された共有環境を用いて行います。

8. 研究組織

研究代表機関

東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 研究代表者 平間 崇

共同研究機関：

共同研究機関	研究分担者	所属
獨協医科大学	前田 寿美子	獨協医科大学病院 呼吸器外科学
東京大学	平石 尚久	東京大学医学部附属病院 呼吸器内科
千葉大学	稲毛 輝長	千葉大学医学部附属病院 呼吸器外科
藤田医科大学	渡邊 俊和	藤田医科大学病院 呼吸器内科
京都大学	峯浦 一貴	京都大学医学部附属病院 呼吸器外科
大阪大学	永田 秀樹	大阪大学医学部附属病院 呼吸器外科
岡山大学	近藤 薫	岡山大学病院 呼吸器外科
福岡大学	宮原 聡	福岡大学病院 呼吸器・乳腺・小児外科
長崎大学	土肥 良一郎	長崎大学病院 呼吸器外科

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は、東北大学における運営費交付金または講座研究費の範囲内で実施する予定です。企業等から研究資金、試薬、機器の供与は受けません。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

担当者の所属・氏名：東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 平間 崇

住所：〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 4-1

連絡先：022-717-8521

当機関の研究責任者

東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 平間 崇

研究代表者

東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 平間 崇

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合